

平成24年度決算事務事業評価資料(H25.9審査)

別紙4

					担当課	農林振興課	
一般会計		款	農林水産業費	項	農業費	目	担い手育成総合支援対策費
対象事務事業名		農業担い手づくり育成事業				施策概要	147ページ
目的		事業の目的は何か					強い亀岡農業の構築に向けて、中核的な担い手として「認定農業者」を確保・育成する。 次世代の亀岡農業を担う若手農業者を確保・育成する。 持続的な営農体制の確立のため、集落営農組織の法人化を支援する。
手法・活動実績		目的達成のために行った手法は何か					■直接実施 □業務委託 □指定管理 ■補助金支給 □その他()
		目的達成のために行った活動とその実績は何か					・認定農業者に対し、5ヵ年認定の中間年に経営状況等を聞き取り、必要に応じたアドバイスを実施 ・就農研修中の研修生に対し、研修後の希望等を聞き取り、適切な支援施策を検討・助言 ・認定農業者や若手農業者が集う情報交換会の開催(年2回) ・新規就農者のための実践研修事業の実施(3名) ・新規就農希望者を対象とした研修を実施する認定農業者等の支援(支援数:8経営体) ・農作業に支援が必要な農家(高齢者、女性単身)に、新規就農希望者等を「農業サポート隊」として派遣(延べ派遣回数:58回) ・法人化・農地集積について地域でのプラン作成に向けた全体研修会の開催(延べ3日間) ・法人化を進めている集落営農組織に対し、関係機関と連携した相談会を開催し、設立を支援(設立数:1法人)
成果		目的に対する成果は何か					認定農業者の確保 ・平成24年度末の認定農業者数92件(平成27年度目標数100件) ・平成24年度の新規認定農業者数15件 新規就農の促進と若手農業者の支援 ・若手農業者の情報交換会参加者数34名 ・若手農業者と専業農家の情報交換会参加者数43名 集落営農組織の法人化による持続的な営農体制の確立 ・平成24年度法人設立数1法人
コスト	事業に係る経費は		内訳		金額	説明	
			嘱託職員報酬 @167,500×12ヵ月		2,010,000	担い手専任マネージャー	
			亀岡地域農業再生協議会 担い手部会活動費		500,000	認定農業者等確保・育成事業	
			後見人謝礼(3名分)70,000円 土壌改良材169,113円 研修用農機具賃借料118,400円 パイプハウス賃借助成147,770円		505,283	担い手養成実践農場整備支援事業	
			助成額250,000円×7経営体 助成額167,000円×1経営体		1,917,000	農の担い手新規就農支援事業	
			サポート隊共済保険61,333円 サポート隊活動費170,000円		231,333	農業サポート隊事業	

		計	5,163,616	
	事業に携わった職員数は	0.65人 ×@7,300,000=	4,745,000	
		※		
		合計		
				9,908,616
財源	上記経費に対する財源(特定財源のみ)は	内訳	金額	説明
		府補助金	251,000	担い手養成実践農場整備支援事業補助金
		府補助金	250,000	認定農業者等確保・育成事業補助金
		計	501,000	
課題方向性	今後の課題は何か	過疎化・高齢化により農業の担い手が減少している中、中核的な担い手となる認定農業者や、次世代の担い手である若手農業者等を確実に支援・育成すること。		
	今後の方向性はどうか	認定農業者については、関係機関と連携し、適切な経営が図られよう指導する。 新規就農については、IターンやUターンなどの就農時の状況差があるため、それぞれに応じた就農支援施策を検討していく。		

※職員の平均人件費を参考数値として示している

平成24年度決算事務事業評価資料(H25.9審査)

					担当課	ものづくり産業課
一般会計	款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費
対象事務事業名	商店街等活性化事業				施策概要	159ページ
目的	事業の目的は何か		○商業の振興 ○地域経済の活性化 ○にぎわいづくりの創出 ○個店の強化			
手法・活動実績	目的達成のために行った手法は何か		□直接実施 ■業務委託 □指定管理 ■補助金支給 □その他()			
	目的達成のために行った活動とその実績は何か		○(商店街活力向上支援事業)ふれあいポイントカードシステム更新に対して補助金を交付した。 ○商店街等イベント事業 13件 ○(商店街街路灯経費支援事業)商店街イルミネーション事業に対する補助を行った。3件 ○(魅力ある商店街のにぎわい創出事業)光秀まつり、亀山城下ひなまつり事業等に補助金を交付した。4事業 ○店舗経営戦略相談業務(委託)			
成果	目的に対する成果は何か		○ふれあいポイントカードシステム更新により商店街顧客や店舗売上増収入の確保につなげた。(ポイントカード加入者:22,000人) ○商店街等イベント事業の実施により、地域の活性化・地域コミュニティを推進し地域貢献を図った。 ○商店街のイルミネーションによりにぎわいを創出した。 ○光秀まつり、亀山城下ひなまつり事業補助により、にぎわい創出を行った。 ○個店の経営改善を図り、経営強化につなげた。			
コスト	事業に係る経費は		内訳	金額	説明	
			商店街活力向上支援事業補助金	4,380,000	ふれあいポイントカードシステム更新 補助率1/9	
			商店街等イベント事業補助金	5,018,000	13団体	
			商店街街路灯経費支援事業補助金	124,998	イルミネーション事業 3団体	
			魅力ある商店街のにぎわい創出事業補助金	1,640,000	光秀まつり協賛事業 亀山城下ひなまつり事業 など	
			店舗経営戦略相談委託料	140,700	個店の経営力を向上させ、地域経済の活性化を図る。(H24 5店舗)	
			計	11,303,698		
事業に携わった職員数は		1.00人 ×@7,300,000=	7,300,000			
		合計 18,603,698				

財源	上記経費に対する財源(特定財源のみ)は	内訳	金額	説明
		一般財源のみ		
		計	0	
課 題 性 方 向 性	今後の課題は何か	○観光客をはじめ、多くの客を商店街に流入させ、買い物や散策の場として賑わいを醸成させる。(滞留性をもたらす仕掛け不足) ○低未利用地(空地・駐車場・非店舗など)が多く、魅力ある商店街としての街並み形成が不十分である。		
	今後の方向性はどうか	○少子高齢化が加速するなかで、買い物弱者が安心(信頼)して買い物ができる場とする。(憩いのスペースづくり、交通手段の確保、宅配サービスなどの確立) ○賑わいのある商業圏の確立と、各個店の強化を図り、地域活力を促し、商業振興と賑わいのあるまちづくりを支援していく。 以上、商店街を生かした事業展開のために補助金を交付していく。		

平成24年度決算事務事業評価資料(H25.9審査)

別紙4

					担当課	土木管理課
一般会計	款	土木費	項	土木管理費	目	道路維持経費
対象事務事業名	道路維持管理事業(道路維持費)				施策概要	170ページ
目的	事業の目的は何か	道路管理者は、道路を常時良好な状態に保つように維持し、修繕し、もって一般交通に支障を及ぼさないように努める。 (道路法第42条第1項) ※市道認定延長 約486.8Km(H25.3.31現在)				
手法・活動実績	目的達成のために行った手法は何か	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金支給 ☒ その他(請負工事)				
	目的達成のために行った活動とその実績は何か	・道路パトロールによる路面状況等の調査・簡易補修・維持作業の実施 ・主要路線の路面性状調査結果に基づく舗装修繕計画の作成 ・地元からの通報・要望等による維持修繕工事の実施 ・交通安全施設設置要望等に基づくカーブミラー等交通安全施設の設置や補修 ・冬季の路面凍結防止のため凍結防止剤散布の業者への委託				
成果	目的に対する成果は何か	道路維持作業委託や道路維持修繕工事の実施により道路を良好な状況に保全し、安全・安心な道路環境の整備に努めた。 特に平成24年度は、緊急通学路点検調査に基づく短期・中期対策として12件の交通安全施設整備工事を実施した。				
コスト	事業に係る経費は	内訳	金額	説明		
		修繕料	30,394,612	道路施設管理において緊急性の高い比較的小規模な維持管理作業(124件)		
		道路維持作業委託	13,474,404	夏季の雑草繁茂により車両及び歩行者の通行に支障をきたすため除草作業委託 道路通行に支障・危険となる倒木等の処理委託 道路側清等の定期的な土砂清掃委託等(67件)		
		凍結防止剤散布作業委託	6,032,588	冬季の道路路面の凍結防止や積雪による交通事故防止のため主要幹線道路(59路線)への凍結防止剤散布業者委託		
		工事請負	165,995,400	地元等の修繕要望及び舗装路面維持管理のため実施した道路維持修繕工事(15件) 緊急通学路点検結果に基づく緊急交通安全施設整備工事(通学路対策)(12件) 交通安全施設整備事業要望等に基づく交通安全施設整備工事(カーブミラー・ガードレール等設置)(1件)		
		その他	8,295,623	消耗品費(凍結防止剤等) 工事材料(本舗装・グレーチング等) 設計委託料		
		計	224,192,627			
	事業に携わった職員数は	6人 ×@7,300,000= ※	43,800,000			
					合計	267,992,627

財源	上記経費に対する財源(特定財源のみ)は	内訳	金額	説明
		交通安全対策特別交付金	17,076,000	
		交通安全事業統合補助	28,000,000	緊急交通安全施設整備事業に係る補助金(補助率55%)
		市債、道路橋梁債	17,000,000	(充当率 75・100%)
		使用料	61,077,000	道路占用料
		計	123,153,000	
課 題 方 向 性	今後の課題は何か	これまで蓄積された膨大な社会資本ストックが、今後更新の時期を迎えてきており、道路管理瑕疵による道路事故の発生や、市道の舗装や側溝修繕、除草など、市民から数多くの要望や苦情が寄せられるなか、近年の厳しい予算制約の下で、可能な範囲で緊急性の高い箇所のみに対応をせざるを得なくなっている。		
	今後の方向性はどうか	道路構造物の維持管理はこれまで構造物の劣化がある程度激しなってから、大規模に更新をおこなう「事後保全」的な方法でおこなわれてきたが、個々の構造物は小規模でも適切な補修をこまめに行うことにより、その性能を長期に維持させる「予防保全」的な維持管理にシフトし維持更新費用の平準化を図るため舗装を始めとした修繕計画の作成を行い、可能なかぎり補助事業などの特定財源の確保に努めたい。 ・橋梁長寿命化計画策定(H22～H24) ・道路舗装修繕計画策定(H24) ・道路附属施設(道路照明施設)点検調査業務委託(H25予定)		

※職員の平均人件費を参考数値として示している

道路維持管理事業に係る資料

市道延長の推移

	年 度				
	平成24年	平成23年	平成22年	平成21年	平成20年
路 線 数	1,727	1,714	1,689	1,647	1,650
延 長(Km)	481.0	479.1	473.0	467.1	464.0

各年度4月1日現在

道路パトロール

	年 度				
	平成24年	平成23年	平成22年	平成21年	平成20年
実施回数	20	18	資料なし		

市道境界確定申請処理件数

	年 度				
	平成24年	平成23年	平成22年	平成21年	平成20年
申請件数	51	50	55	59	86

占用申請事務処理件数

		年 度				
		平成24年	平成23年	平成22年	平成21年	平成20年
占 用 者 別	関西電力㈱	87	114	88	83	100
	NTT	36	68	43	40	37
	ケイ・オプコム	35	41	50	37	40
	大阪ガス	18	5	11	7	4
	他ガス社	4	18	7	2	2
	水道	95	74	102	109	134
	下水	53	46	67	80	88
	その他	73	78	82	98	65
計		401	444	450	456	470

道路一時使用届処理件数

		年 度				
		平成24年	平成23年	平成22年	平成21年	平成20年
申請 者別	自治会・区・子供会等	54	資料1年保管の為なし			
	その他事業者	26				
	計	80				

鳥獣等の死骸処理件数

		年 度				
		平成24年	平成23年	平成22年	平成21年	平成20年
動 物 別	鳥	5	13	3	4	3
	犬・猫	32	37	49	40	25
	鹿	2	5	9	6	0
	イタチ	3	5	10	4	3
	狸	13	6	5	8	13
	その他	3	3	1	4	3
計		58	69	77	66	47

道路管理瑕疵による車両等事故件数

	年 度				
	平成24年	平成23年	平成22年	平成21年	平成20年
発生件数	2	3	1	1	3
損害賠償金額(円)	369,210	1,079,000	110,000	318,480	285,239

車両事故による道路構造物破損事故件数(原因者判明分)

	年 度				
	平成24年	平成23年	平成22年	平成21年	平成20年
発生件数	14	10	9	9	5

冬季凍結防止剤散布路線並びに凍結防止剤使用量

	年 度				
	平成24年	平成23年	平成22年	平成21年	平成20年
散布路線	59	55	55	55	55
散布委託料(円)	6,032,588	6,071,400	9,675,768	3,137,974	4,928,036
凍結防止剤使用量(トン)	74.05	62.75	80.15	28.85	49.60

平成24年度 道路維持修繕実施状況

実 施 種 別			契約件数	要 望 元			合計
				地域コン	自治会・区	その他	
		整備内容	件数	箇所数	箇所数	箇所数	箇所数
修繕料	維持修繕	側溝補修・路肩補修・舗装補修等	21		11	10	21
	交通安全施設修繕工事	カーブミラー・ガードレール等修繕	1		5	12	17
	維持修繕(緊急対応)	側溝補修・路肩補修・舗装補修等	85	2	32	51	85
	交通安全施設修繕(緊急対応)	カーブミラー・ガードレール等修繕	17		3	14	17
	合計		124	2	51	87	140
道路維持作業委託	維持管理委託	草刈・路面清掃等	12		8	4	12
	維持作業委託(緊急対応)	草刈・側溝清掃・街路樹管理等	53		19	34	53
	作業委託	和らぎ・水鳥の道管理委託	2			2	2
	合計		67	0	27	40	67
工事請負	維持修繕工事	側溝修繕・路肩修繕等	15	13	33	24	70
	緊急通学路対策工事	区画線・路肩カラー・ガードレール等	12		5	7	12
	交通安全施設整備工事	カーブミラー新設・ガードレール新設・区画線補修等	1		41	2	43
	合計		28	13	79	33	125
合 計			219	15	157	160	332

<備考>

「その他」とは①市の道路パトロールによるもの②個人からの通報による緊急対応のもの